

# 狭山市次世代育成支援計画・後期計画の実施状況

市では、次代を担う子ども達が、健やかに生まれ育つための環境づくりを進めるために、「狭山市次世代育成支援計画・後期計画」を策定しています。この計画に位置づけられた各種事業の平成24年度実施状況がまとまりましたのでお知らせします。

## ■狭山市次世代育成支援計画の目的

ともに支えあい、元気で安心して子育て・子育てができるまちづくりを進めます。

前期計画／平成17～21年度 後期計画／平成22～26年度

## ■3つの基本的な視点

①子どもがのびのびと健やかに育つために

②親がゆとりをもって安心して子育てができるために

③地域があたたかく子育て、子育てを支えるために

## ■計画の推進

市民の代表で構成する狭山市次世代育成支援対策地域協議会などが中心になって、毎年、計画の実施状況を把握・点検し、結果を公表します。

## 平成24年度 主な施策・事業の実施状況

主な施策・事業	後期計画の目標	実施状況(24年度)
つどいの広場事業の拡充(※1)	設置7か所	設置6か所
一時保育の充実	実施17か所	実施15か所
子育て支援に関するネットワークの構築	子育てに関わる人、情報、サービスのネットワーク構築	25団体で24年5月設立。25年3月までに30団体となる。ネットワークたより5号まで発行。交流会・パネル展・子育て支援ネットワークまつりの実施、実践交流イベントの開催
子育てボランティアの養成	子育て支援に携わる人材の育成と活動支援	子育てボランティア養成講座の実施(参加者数34人)
妊娠期教育事業	マタニティスクールと両親学級を実施	マタニティスクール(6コース・229人) 両親学級(6回・72組)
こんにちは赤ちゃん事業(※2)	地域と子育て家庭、行政の連携強化。事業の周知徹底	面会数1,032件 面会率94.59%
要保護児童対策地域協議会(※3)の充実	代表者会議1回、実務者会議12回、個別ケース会議22回	代表者会議1回、実務者会議12回、個別ケース会議36回実施
保育所待機児童対策の推進	受入人数2,200名	受入人数1,945人
延長保育の充実	実施24か所	実施22か所
休日保育の充実	実施3か所	実施1か所
病後児保育の整備	実施2か所	検討中
学童保育室の充実	設置22か所	設置21か所
地域子ども教室事業の推進(※4)	全小学校区設置	設置13か所

(※1)身近な地域における相談や親同士の交流の場 (※2)生後2か月時点の乳児家庭の全戸訪問  
(※3)児童虐待の予防、早期発見、早期対応や虐待のおそれのある家庭の見守りを行うための関係機関ネットワーク  
(※4)児童が放課後などに自主的に参加し、自由に遊ぶ、安全に過ごすことのできる居場所

## 市長の主な動き

○8/1…埼玉県基地対策協議会要望活動 ○8/2・30…辞令交付式 ○8/3・4…狭山市入間川七夕まつり ○8/7・22…定例庁議 ○8/8・26…白寿訪問 ○8/8…災害対策本部訓練 ○8/9…埼玉県市町村総合事務組合議会定例会 ○8/19…東京狭山線整備促進期成同盟会要望活動、不老川流域対策推進協議会要望活動 ○8/21…広域飯能斎場組合議会定例会 ○8/23…埼玉県都市競艇組合決算監査 ○8/29…定例記者会見 ○8/31…総合防災訓練

遅々として進まない復旧・復興状況を目の当たりにし、被災者には生活や将来もあることを思うと、空虚な思いを抱くばかりです。電力会社の補償もさることながら国の責務として具体的な道筋を示されることを願ってやみません。  
わずか30分足らずの滞在でありましたが、人にも出会わず恐ろしいくらい静かな時間を過ごし、国難の大きさを実感いたしました。そして同時に、本市に避難されている方々の、心痛が伝わってまいりました。



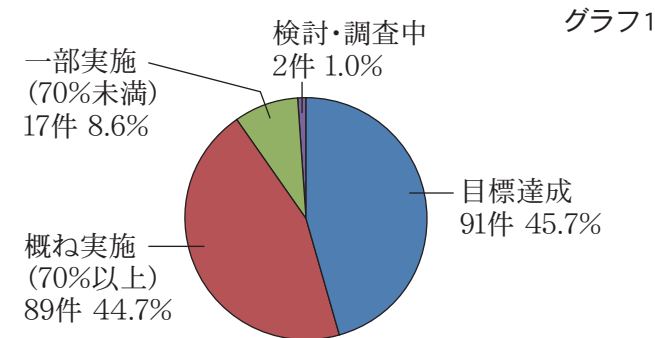
子育て支援ネットワークまつりのようす



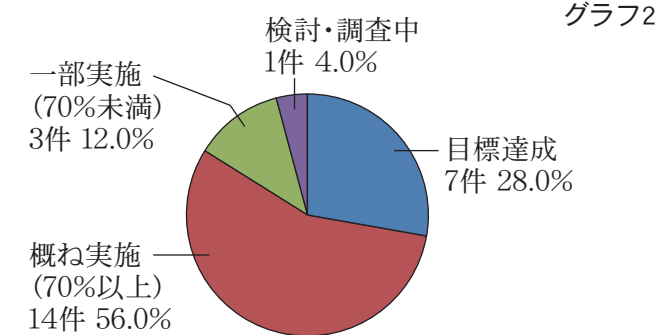
## 計画した施策・事業の90.4%を実施

後期計画3年めでの目標達成は、45.7%、おおむね実施が44.7%、一部実施が8.6%、検討・調査中が1.0%となっています。また、重点事業では、目標達成は、28.0%、おおむね実施が56.0%、一部実施が12.0%、検討・調査中が4.0%となっています。(グラフ参照)

## 全体の実施状況件数別内訳(199件)



## 重点事業の実施状況件数別内訳(25件)



施策・事業(重点事業)実施状況の詳細は、行政資料室やホームページでご覧になれます

問合せこども課へ内線1539



## ●広島市平和記念式典に市内中学生が参列

8月6日(火)、広島市で開催された「広島市原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式」に市内中学校の生徒4名が参列しました。生徒たちは式典への参列のほか、慰霊碑への献花や同級生が作製した千羽鶴の献納、原爆ドームや広島平和記念資料館の見学をとおして、改めて戦争の悲惨さと平和の大切さについて認識を深めました。

なお、生徒たちは9月7日(土)に中央公民館で行われた「平和祈念講演会」に参加し、式典当日の感想を発表しました。



広島平和記念公園内原爆ドーム前にて

問合せ政策企画課へ内線7133

## ●米国少年野球チームが来市

8月8日(木)、アメリカ合衆国の少年野球チーム「カリエンド・スポーツ・インターナショナルチーム」が狭山市を訪れ、下奥富公園内のグラウンドで、「狭山リトルシニア」と交流を図りました。

合同練習の後、混成のチームを作って対戦し、場内アナウンスを米国チームの保護者が務めるなど、雰囲気は野球の本場アメリカそのもの。試合後は、ほとんどの選手がユニホームの交換をするなど、思い出に残る夏の1日になりました。

問合せスポーツ振興課へ内線5712



## 原発被災地を訪ねて

真夏の暑い日に、被災者と共に福島を訪れました。昨年訪れた岩手、宮城の津波被災地の惨状とは違い、現地はまったく手つかずのまま、わずかに除染のために使用した大袋が積まれた状態でした。海岸も崩れたまま、自動車も置き去りにされ、田圃であったと思われる場所も、塩害のためか草丈が低い雑草で覆われておりました。



狭山市長 仲川幸成  
似顔絵・花倉正喜氏

## 市長随想 ⑧